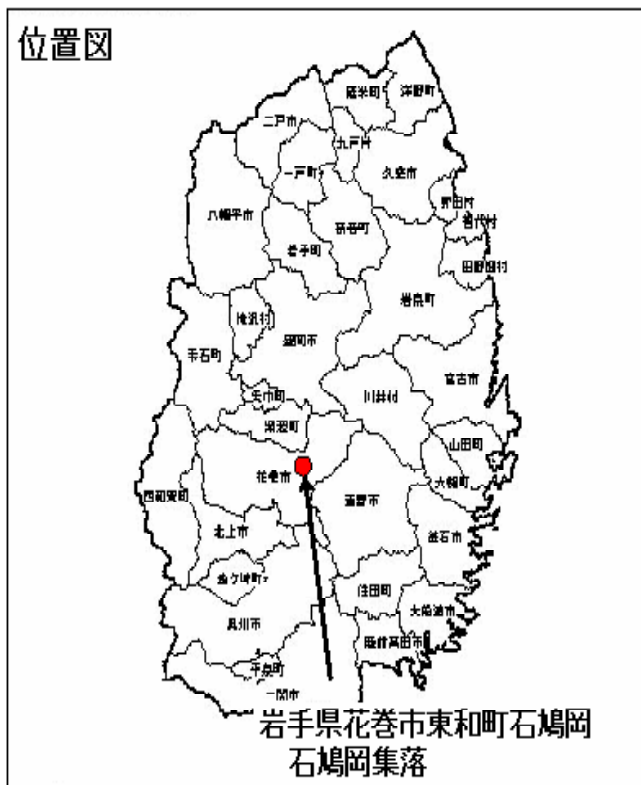


平成17年度農林水産大臣賞

岩手県花巻市東和町石鳩岡

「石鳩岡集落」



地区の概要

事項	内容	
地区の規模	集落	
地区の性格	山間農業地域	
農家率	83.8%	(内訳) 総世帯数 68戸 農家数 57戸
販売農家数	54戸	(内訳) 専業農家 12戸 Ⅰ兼農家 4戸 Ⅱ兼農家 38戸
主要作物 ()内産出額	水稲 (69百万円) 工芸作物 (1百万円) 雑穀 (1百万円)	
農用地の状況	耕地計 88.22ha	(内訳) 田 75.77ha 畑 7.11ha 草地 5.34ha 耕地率 16% 農家一戸当たり農用地面積 1.55ha

【むらづくりの経緯・動機等】

- ・ 石鳩岡集落は山間地に拓けた旧村時代からの強い結束力が維持されている集落。
- ・ 平成3年に農産加工機能を備え、集落農業の振興を図るための活動の拠点として地域振興センターを整備、これを契機に、自治会長が当センターの管理運営を行う地域振興組合長を兼務する体制に変更。
- ・ これにより、集落内の各組織の連携が一層強化され、集落一体となったむらづくりの取組を展開。

【推進体制】

- ・ 自治会長が地域振興組合長を兼務する推進体制のもと、青年部、婦人部等の自治会各部会や農家組織における議論が活発化、加工品づくりや文化財及び自然環境の保全活動など、むらづくりに向けた取組が具体化。

【生産面における寄与状況】

- ・ 深刻化する農業従事者の高齢化や後継者不足に対応するため、農作業受託生産事業体を平成14年に設立、集落水田農業ビジョンの担い手として位置付け、水稲や大豆・そば・雑穀の作業受託を通じ農地の利用集積などに取り組む。
- ・ 堆肥と稲わらの交換による耕蓄連携を推進し、農薬使用を町の独自基準とした特別栽培米や健康食材である雑穀（ヒエ・アワ等）等の作付けを拡大。
- ・ 婦人部が中心となり、転作大豆を用いた豆腐や味噌づくりなどの地産地消ほか、新たな加工品開発に取り組む。

【生活・環境整備面における寄与状況】

- ・ 文化財や自然環境の保全活動を通じ、子供達に郷土愛を育む。
- ・ 江戸時代後期から続く伝統芸能を継承し、公演を通じて地域情報を発信。
- ・ 修学旅行生の農作業体験を受入れ、農村集落の良さをPR。



むらづくりの活動拠点「石鳩岡地域振興センター」



江戸時代後期から続く「早池峰岳流石鳩岡神楽」



集落農業を担う農作業受託生産事業体の皆さん



転作大豆を用いた婦人部による味噌づくり